

掘りだそう、自然の力。

Calbee

カルビーグループ決算説明会

2024年3月期 第3四半期

2023年4月1日～2023年12月31日

TSE code : 2229

カルビー株式会社

2024.2.6

- **第3四半期累計決算は、188億円の増収、57億円の増益
四半期、第3四半期累計において過去最高の売上高、営業利益**
- **当四半期の国内の売上、利益の伸長が、連結業績全体を牽引
マーケティング施策が奏功し、スナック、シリアルともに販売好調
価格・規格改定効果と数量伸長でコスト高騰を吸収**
- **海外は、減収増益、営業利益は修正計画に若干届かず
重点地域の中華圏が苦戦も、英国、インドネシア等は好調継続**
- **第4四半期も着実なマーケティング活動により、国内の堅調な
モメンタムを維持していくとともに、今後の成長に向けた投資を推進**

2024年3月期第3四半期累計業績

掘りだそう、自然の力。



決算サマリ

売上高 2,273億円 (対前年+188億円、対修正計画+19億円)
 営業利益 237億円 (対前年+ 57億円、対修正計画+10億円)
 当期純利益 172億円 (対前年+ 46億円、対修正計画+ 9億円)

(億円)

	2024年3月期 第3四半期累計 実績	2023年3月期 第3四半期累計 実績	伸び率	2024年3月期 第3四半期累計 修正計画	修正計画比
売上高	2,273	2,085	+9.0%	2,255	100.8%
国内	1,723	1,543	+11.7%	1,689	102.0%
海外	550	542	+1.5%	565	97.3%
営業利益	237	181	+31.3%	227	104.4%
営業利益率	10.4%	8.7%	+1.8pts	10.1%	+0.4pts
国内	208	160	+29.9%	197	105.3%
海外	29	21	+41.9%	30	98.2%
経常利益	260	191	+36.6%	255	102.0%
当期純利益 ※	172	125	+37.0%	163	105.5%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2024年3月期第3四半期業績（3か月）

掘りだそう、自然の力。



決算サマリ

売上高 803億円（対前年+50億円、対修正計画+19億円）

営業利益 102億円（対前年+24億円、対修正計画+10億円）

＜対前年＞ 国内は、改定効果と数量伸長で増収増益
海外は、中華圏は不調も、英国、インドネシアの好調継続で増益

＜対修正計画＞ 国内での販売好調と販促費抑制による増益が牽引

（億円）

	2024年3月期 第3四半期 実績	2023年3月期 第3四半期 実績	伸び率	2024年3月期 第3四半期 修正計画	修正計画比
売上高	803	753	+6.6%	784	102.4%
国内	620	565	+9.8%	586	105.8%
海外	183	188	△2.9%	198	92.2%
営業利益	102	78	+30.5%	92	110.9%
営業利益率	12.7%	10.4%	+2.3pts	11.7%	+1.0pts
国内	92	71	+29.5%	81	113.0%
海外	10	7	+40.9%	11	94.9%
経常利益	94	63	+48.0%	89	105.7%
当期純利益 ※	63	42	+49.4%	54	116.7%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2024年3月期第3四半期業績（3か月） 営業利益分析

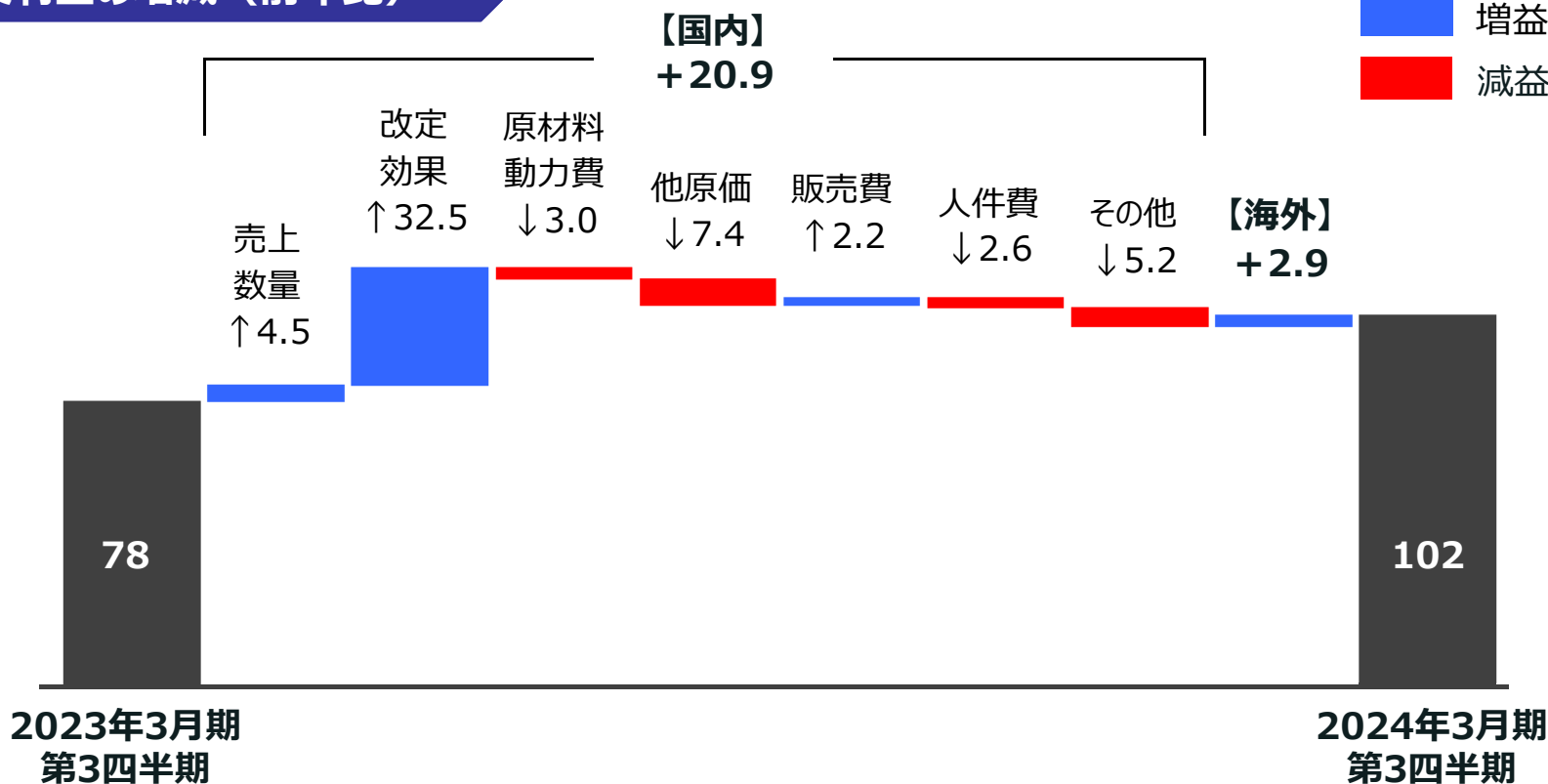
掘りだそう、自然の力。



営業利益の増減（前年比）

(億円)

■ 増益
■ 減益



【国内】

原材料・動力費：輸入原料（△5億円）、包材（△5億円）、食油（+2億円）、動力費（+6億円）
 その他原価：労働力不足への対応による労務費増加、消耗修繕費の増加等
 販売費：販促費の改善
 その他：物流コストの上昇、システム投資や社会経済活動の正常化に伴う旅費増

【海外】

改定効果（+2億円）、原材料・動力費（△0.3億円）

2024年3月期第3四半期業績（3か月）国内事業

掘りだそう、自然の力。



- **スナック** 改定効果と数量伸長で全てのカテゴリーで増収
2023年秋の北海道産ばれいしょを十分に確保できたことから、ポテトチップスで積極的なマーケティング施策を実施して伸長
土産用製品やじゃがりこは、人流増加に伴い好調継続
- **シリアル** マーケティング施策が奏功し、大容量品を中心に伸長
- **その他** 甘しょ事業は堅調継続

(億円)

	2024年3月期第3四半期		
		前年同期比	
国内売上高	620	+55	+9.8%
スナック	573	+41	+7.7%
ポテトチップス	276	+16	+6.1%
じゃがりこ	119	+12	+11.4%
その他スナック	178	+13	+7.7%
シリアル	63	+11	+20.1%
その他（アグリ・食と健康・役務提供）	50	+6	+14.7%
リベート等控除	△67	△3	—
国内営業利益	92	+21	+29.5%
営業利益率	14.8%	+2.3pts	—

※ 「スナック」「シリアル」「その他（アグリ・食と健康・役務提供）」の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

2024年3月期第3四半期業績（3か月） 国内事業

スナック

- **ポテトチップス：**
 - 増量キャンペーンやTVCF等のマーケティング施策が奏功し、「うすしお味」等の定番品や「堅あげポテト」が好調
 - 前年に実施した輸入製品販売の反動減で、販売数量は微減
- **じゃがりこ：**
 - 強い需要に対応して、定番品に集中して販売し、数量伸長
 - 新ラインの稼働や生産効率の向上で生産キャパシティを増加
- **その他スナック：**
 - 土産用製品は国内旅行やインバウンド需要の増加により、新型コロナウイルス感染拡大以前を超える水準
 - 相対的な値ごろ感もあり、小麦系、豆系スナックが好調

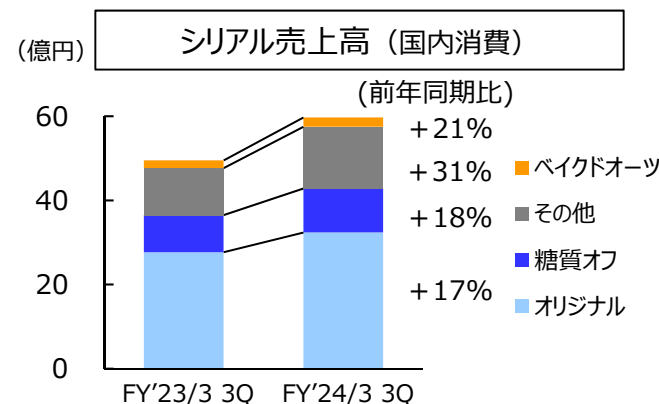
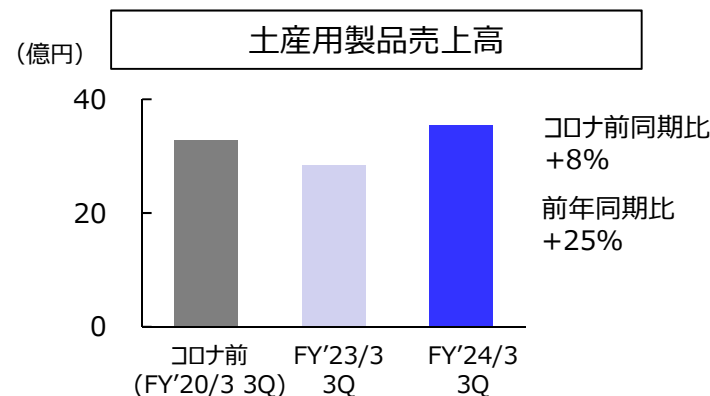
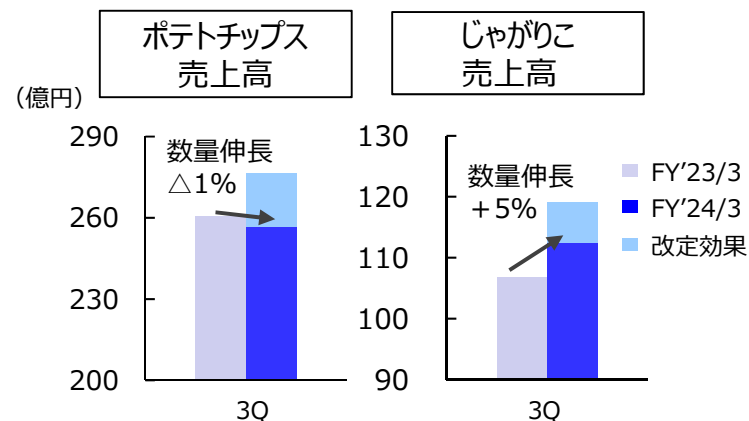
シリアル

- シリアル市場は微増で、シェアは伸長(+3.9pts)^(*)
- 期間限定のコラボ製品が好評
- 増量キャンペーンや積極的な販促活動が奏功し、大容量サイズが伸長

^(*)出所：(株)インテージSRI+



コラボ製品
「フルグラ ブラックサンダー味」



2024年3月期第3四半期業績（3か月） 海外事業

- **北米** 「Harvest Snaps」、日本発ブランドの需要は堅調も、PB・OEMの低調継続で現地通貨ベースで減収
- **中華圏** 小売店舗向け、ECともに大幅減収
- **その他** 英国：ポテトチップスや新製品のペレットスナックの好調継続で増収増益
インドネシア：ポテトチップスや12月に新ラインが稼働した「Guribee」の販売が伸長
原材料費の改善も継続し、増収増益

(億円)

<地域別実績>	2024年3月期第3四半期			
		前年同期比		為替影響除く 実質伸び率
海外売上高	183	△5	△2.9%	△8.3%
北米	57	+1	+1.6%	△2.8%
中華圏	41	△25	△38.1%	△40.6%
その他	104	+11	+12.0%	+4.6%
リポート等控除	△19	+8	-	-
海外営業利益	10.0	+2.9	+40.9%	-
営業利益率	5.5%	+1.7pts	-	-
北米	1.5	+0.0	+2.0%	-
中華圏	△0.3	△3.3	-	-
その他	8.8	+6.2	+244.8%	-

※ 地域別の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

2024年3月期第3四半期業績（3か月） 海外事業

掘りだそう、自然の力。



*前年同期比

北米

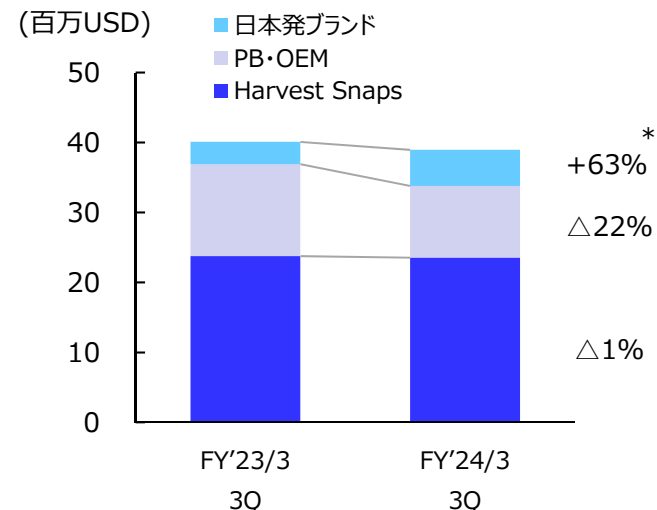
■売上高

- 「Harvest Snaps」は販促タイミングのずれにより微減
- 日本発ブランドは強い需要継続に加えて、米系スーパー等への販路拡大で増収
- PB・OEM業界の再編の影響継続も、12月から新規受注開始

■営業利益

- PB・OEMの減収を日本発ブランドが相殺

北米 売上高 (△3%*)



中華圏

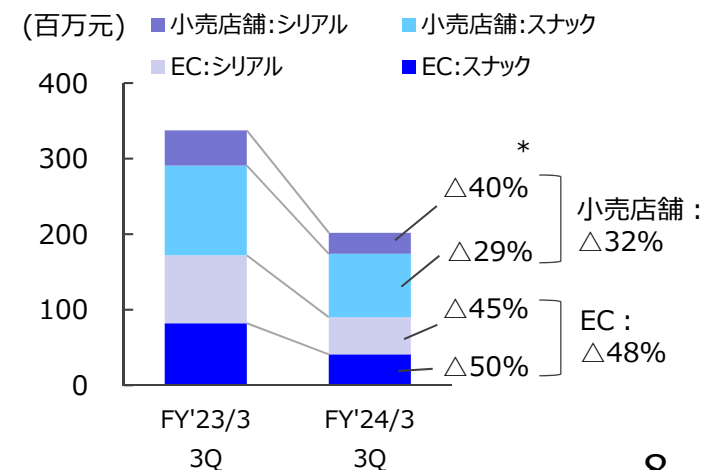
■売上高

- 市場はデフレ傾向が続き、EC、小売店舗ともに大幅減収
- 通関規制強化で日本からの主カスナックの輸入がストップ
- 周辺国の増産、現地OEM生産開始に向けた準備を進める

■営業利益

- 販売費は削減するも、減収影響をカバーできず減益

中華圏 売上高 (△41%*)



2024年6月の価格・規格改定

実施時期	2022年 3月期	2023年3月期			2024年3月期		2025年3月期
	2022年 1-2月	2022年 6-7月	2022年 9-10月	2022年 11月	2023年 6月	2023年 8-10月	2024年 6月
対象製品						<p>一部 土産用 製品</p> 	
改定率	<p>内容量: △5% 想定価格: +7-10%</p>	<p>内容量: △10% 想定価格: +10-20%</p>	<p>想定価格: +10-20%</p>	<p>想定価格: +10-20%</p>	<p>想定価格: +3-15%</p>	<p>想定価格: +5-20%</p>	<p>想定価格: +3-10%</p>

【参考】対象製品売上高 900億円
(FY'24/3見込みベース)

參考資料

2024年3月期第3四半期累計業績 営業利益分析

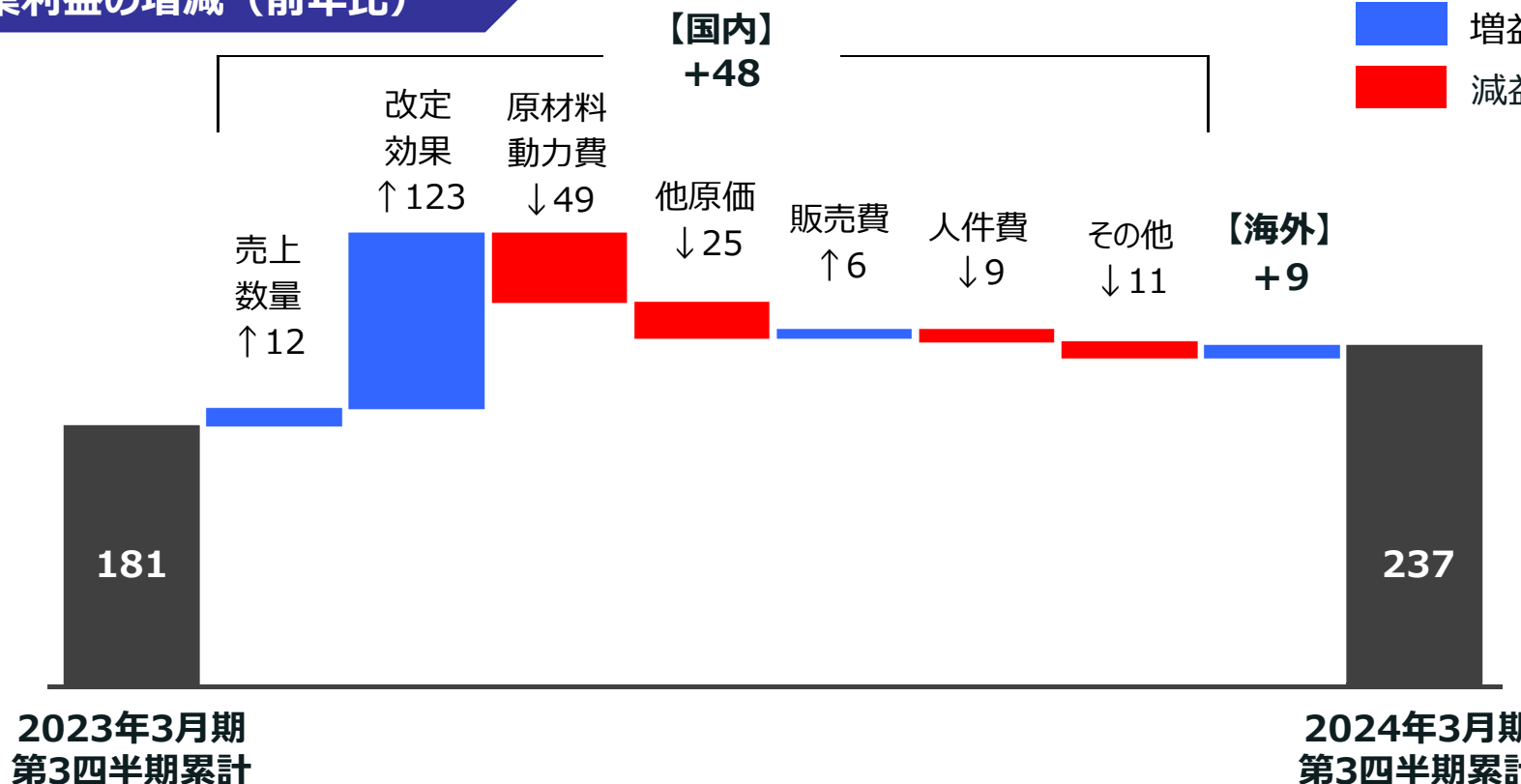
掘りだそう、自然の力。



営業利益の増減（前年比）

(億円)

■ 増益
■ 減益



【国内】

原材料・動力費 : 輸入原料 (△23億円)、包材 (△17億円)、食油 (△10億円)、国産ばれいしょ (△8億円)
動力費 (+4億円)
その他原価 : 労働力不足への対応による労務費増加、かいつか (甘しよ事業) の収益性悪化
販売費 : 販促費改善 (+9億円)、マーケティング投資 (△2億円)
その他 : システム投資、社会経済活動の正常化に伴う旅費増加

【海外】

改定効果 (+14億円)、原材料・動力費 (△7億円)

2024年3月期第3四半期累計業績 営業利益分析 (要素別)

掘りだそう、自然の力。

Calbee

営業利益の増減 (前年比)

(億円)

■ 増益
■ 減益

2023年3月期
第3四半期累計

181

+12 数量増

+123 改定効果

△49 原材料・動力費・物流費

+7 販促費改善・マーケティング投資

△7 新規・基盤投資

△14 人財投資

△24 その他

+9 海外

2024年3月期
第3四半期累計

237

連結損益計算書

掘りだそう、自然の力。

Calbee

(百万円)

	2024年3月期 第3四半期				2024年3月期 第3四半期累計			
		構成比 (%)	前期比 (%)	修正計画比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)	修正計画比 (%)
売上高	80,268	100.0	+6.6	102.4	227,339	100.0	+9.0	100.8
売上総利益	29,259	36.5	+14.0	105.6	77,621	34.1	+13.4	102.0
販売管理費	19,057	23.7	+6.7	102.9	53,905	23.7	+7.0	101.0
販売費	3,086	3.8	△8.1	101.2	8,311	3.7	△0.6	100.4
物流費	6,301	7.9	+12.0	104.1	16,953	7.5	+3.9	101.5
人件費	5,959	7.4	+8.6	98.9	17,603	7.7	+11.3	99.6
その他経費	3,710	4.6	+9.7	109.5	11,036	4.9	+11.6	103.0
営業利益	10,201	12.7	+30.5	110.9	23,715	10.4	+31.3	104.4
経常利益	9,396	11.7	+48.0	105.7	26,031	11.5	+36.6	102.0
特別損益	△137	—	—	—	△101	—	—	—
当期純利益 ※	6,301	7.9	+49.4	116.7	17,165	7.6	+37.0	105.5

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

財政状況

掘りだそう、自然の力。

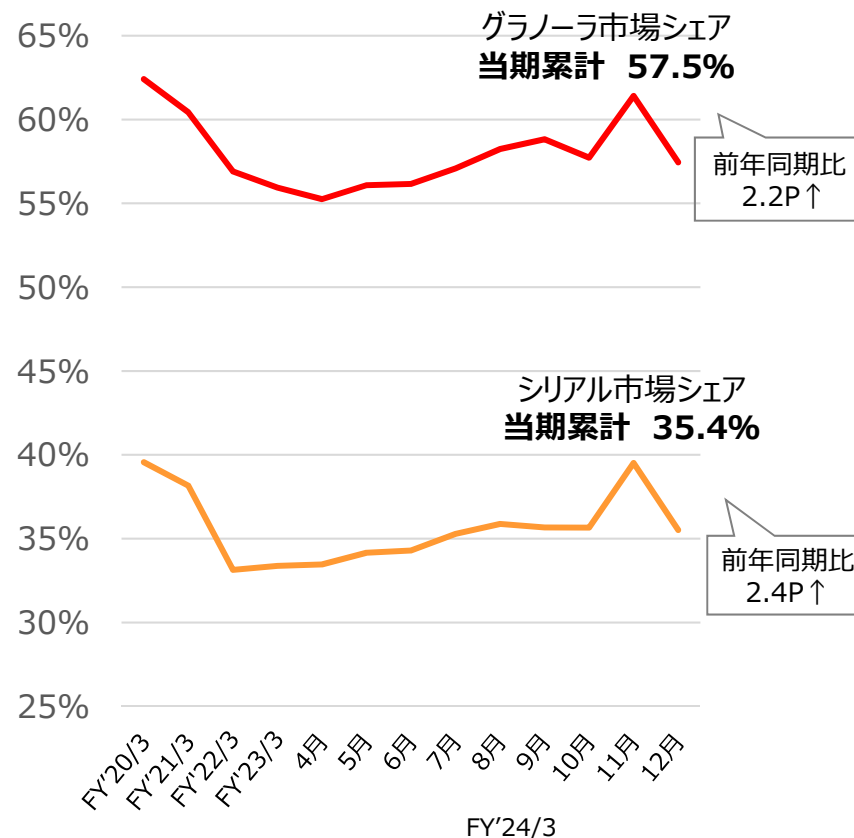
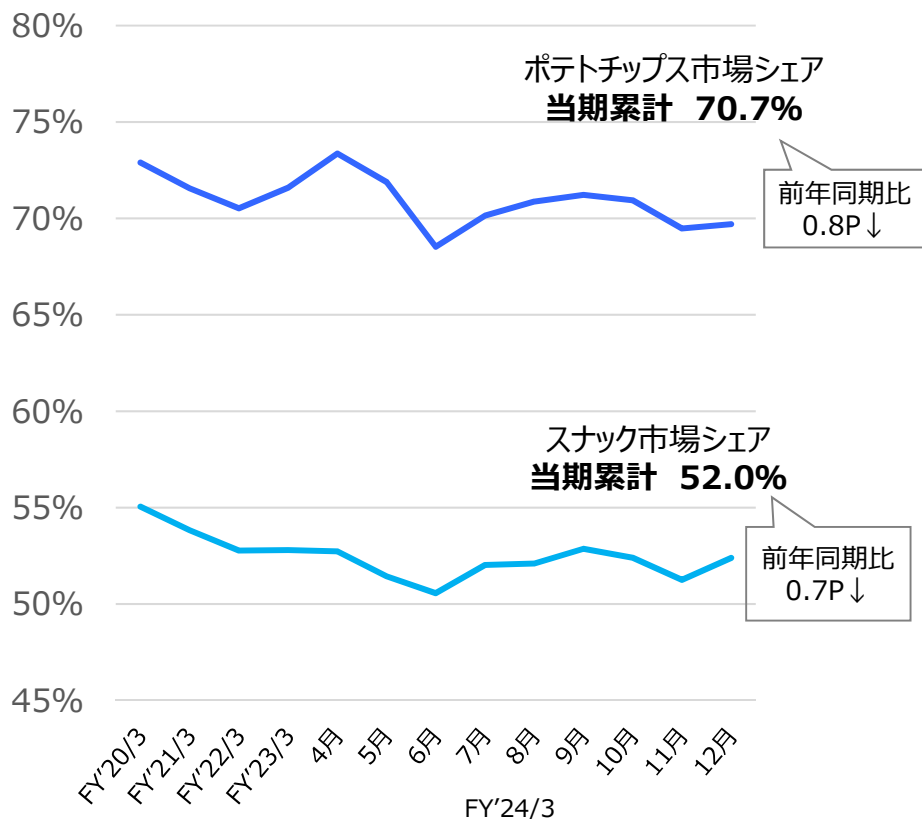
Calbee

(百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	増減	主な増減
資産合計	239,095	279,606	+40,511	
流動資産	98,970	119,993	+21,022	受取手形及び売掛金 +18,582 (月末銀行休業日によるもの)
固定資産	140,124	159,613	+19,488	有形固定資産 +20,476 (主な設備投資) ・せとうち広島工場 ・じゃがりこ新ライン
負債合計	56,408	83,455	+27,046	
流動負債	45,663	47,514	+1,851	
固定負債	10,745	35,940	+25,194	長期借入金 +25,000
純資産	182,686	196,151	+13,464	利益剰余金 +10,656
Net Cash	30,311	1,871	△28,440	
自己資本比率	72.8%	66.8%	△6.0pts	

国内市場シェア

掘りだそう、自然の力。



出所：(株)インテージSRI+ 全国全業態 金額ベース
(株)インテージSRI+の集計範囲に変更があったため、過去数値を
新集計範囲に基づき更新しております。

当期累計：2023年4月～2023年12月
前年同期：2022年4月～2022年12月
FY'20/3-FY'23/3：2019年4月～2023年3月

スナック市場シェア：カルビーとジャパンフリトレーの合計
ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・
ケトル合算、非公開PB含む
グラノーラ市場：シリアル市場・グラノーラカテゴリ

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2024/3(FY'24/3)は2024年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。